

# 人間関係と性教育方針

(RSE)

日本人学校



承認済み

学校運営委員会

日付2023年6月

最終レビュー日

2023年6月

次回のレビュー期限

2024年6月

バージョン番号	変更者	修正内容	変更日
1	K.西原	初期バージョン	31/03/2021
1.3	K.西原	シラバスの追加	27/04/2021
1.4	K.岡本	人間関係と性教育の定義	08/05/2022
1.4.1	K.岡本	レビュー	01/06/2023

ドラフト、改訂版、最終版など

## 内容

1. 人間関係と性教育の定義.....	4
2. RSEの定義.....	4
3. インクルージョンと差別化された学習.....	5
4. 平等義務.....	5
5. RSE6の幅広い内容	
6. 保護者と介護者.....	6
7. バランスのとれたカリキュラム.....	6
8. プログラムの指導責任.....	6
9. RSE7に関するその他の役割と責任.....	7
10. PSHE/RSEコーディネーター.....	7
11. 他の政策やカリキュラム科目との関係.....	7
12. 論議を呼びそうな微妙な質問.....	8
13. 危険にさらされている子どもと若者を支援する.....	8
14. 守秘義務とアドバイス.....	8
15. モニタリングと評価.....	8
PSHE & RSEシラバス.....	8

## 人間関係と性教育方針

### ポリシーの実施と見直し

本方針の実施は、2023年5月の学校運営委員会の協議を経て行われる。この方針は、学校長、教頭、RSEコーディネーター、管理職（SLT）、職員によって毎年見直されます。次回の見直しは2024年5月です。

### 普及

この方針はSLTの全メンバー、教員、教員以外の全職員に配布されます。この文書のコピーは、学校の事務室ですべての保護者に配布されます。人間関係と性教育のほとんどすべての側面は、日本のカリキュラムの中で、道徳教育、体育、家庭科、理科などの他の科目でカバーされています。RSEカリキュラムの内容の詳細は、このポリシーに添付されています。

### 1. 人間関係と性教育の定義

DfEのガイダンスによると、「子供と若者は、安全で健康である方法と、学業、個人生活、社会生活を前向きに管理する方法を知る必要がある」<sup>1</sup>。つまり、子どもたちは、人間として完全であることの意味を知り、人間関係を健全かつうまく管理できるようになり、良心に基づいて道徳的な決定を下せるようにならなければならないのである。RSEの教育は、性的な存在としての自分自身についての知識と理解を深める助けとなる。

「特に友人関係、家族関係、他の子供たちや大人との関係に焦点を当て、肯定的な人間関係の基本的な構成要素と特徴を教える」ことに重点を置く。<sup>2</sup>これには、家族やその人を世話する人々、思いやりのある友人関係、尊敬に値する人間関係、オンライン上の人間関係、安全であることなどが含まれます。

私たちは、学校の人間関係・性・健康教育のカリキュラム（およびより広いカリキュラム）が、セクシャルハラスメント、オンラインでの虐待、性的暴力を具体的に取り上げることが期待しています。カリキュラムはまた、保護上のリスク（オンライン上のリスクを含む）、同意の問題、オンラインとオフラインの両方で健全な関係を構成するものを扱います。また、効果的な助言も提供します。これには、精神的な健康状態、家庭内虐待、追加的なニーズがあること、搾取のリスクが高いこと、または虐待を報告できないと感じていること（例えば、女の子やLGBTの子どもたち）など、子どもの脆弱性を高める要因や潜在的な脆弱性に注意を払うことが含まれます。

### 2. RSEの目的

当校では、全児童生徒の教育（精神的、身体的、知的、道徳的、社会的、文化的、情緒的）に取り組んでおり、RSEはこの教育に不可欠な要素であると考えています。さらに、教育目標では、児童生徒の自尊心と自信を高め、知識と理解を深め、すべての人の価値を認識し、思いやりのある繊細な態度を身につけさせることに努めています。このような観点から、私たちは次のことを約束します：

<sup>1</sup>人間関係教育、性教育（RSE）、健康教育：管理団体、経営者、校長、校長、上級指導者チーム、教師のための法定ガイダンス 4 ページ

<sup>2</sup>人間関係教育、性教育（RSE）、健康教育：管理団体、経営者、教頭、校長、上級指導者チーム、教師のための法定ガイダンス 19 ページ

保護者と協力し、子供と青少年に、その身体的、認知的、心理的、精神的成熟度に見合った、前向きで慎重な人間関係と性教育を提供する。

児童生徒たちに次のような**態度と美德**を身につけさせる：

- すべての人間の尊厳を尊重する；
- 創造された世界と自分自身の肉体の本性の良さに喜びを感じる；
- 自らの行動に責任を持ち、それが他者に与える影響を認識する；
- 結婚と家庭生活の重要性を認識する；
- 自分自身と他者の性的アイデンティティを認識し、大切にする；
- 人間関係における忠実さ

次のような**個人的・社会的スキル**を児童生徒に身につけさせる：

- 健全な判断を下し、誠実で、各人の個人的なコミットメントを尊重した良い選択をすること；
- 愛し、愛されること、搾取、虐待、いじめのない友情と愛情に満ちた安定した人間関係を築く能力；
- 人間関係の中で感情を管理し、人間関係が破綻したときには、自信、感受性、品位を持って対処する；
- 対立を前向きに管理し、相違の価値を認識する；
- 謙虚さ、慈悲深さ、思いやりを養う；
- 赦し、赦されることを学ぶ；
- 自尊心と自信を育み、自尊心と他者への共感を示す；
- メディア、インターネット、友人関係の影響と影響を認識し、圧力を評価し、適切に対応する能力を養う；
- 人間の生き方や愛を導く上での徳の中心性と重要性；
- 思春期に伴う身体的・心理的变化；

### 3. インクルージョンと差別化された学習

RSEは、児童生徒一人ひとりの異なる能力、成熟度、個人的な状況に配慮し、児童生徒が差別を受けることのないように指導する。また、差別、からかい、いじめ、攻撃的な行動（ネットいじめを含む）の性質と結果、偏見に基づく言葉の使い方、どのように対応し助けを求めるべきかを子供たちが理解できるように授業を行います。

### 4. 平等義務

管理職は、2010年均等法の下で、より広範な責任を負っており、障害、教育的ニーズ、人種、宗教、国籍、民族的出身、妊娠、出産、性別、性自認、性的指向、または保護監護の有無にかかわらず、すべての児童生徒のために最善の努力をすることを保証します。



## 5. RSEの広範な内容

RSEの3つの側面・態度と価値観・知識と理解・個人的・社会的スキルは、相互に関連した3つの方法で提供される。

添付のRSEカリキュラムを参照のこと。

## 6. 保護者

詳細はウェブサイトをご覧ください、問題があれば学校でご相談ください。

保護者は、ナショナルカリキュラムの科学シラバスで義務付けられている要素を除き、小学部での性教育を**取りやめる権利があります**。保護者が辞退を希望する場合は、校長に通知してください。学校は、保護者が子供の学習を手助けするための教材を提供し、サポートします。

私たちは、教室という管理された環境こそが、このカリキュラムを守るための最も安全な場所であると考えています。性教育を免除される権利（一般的に「辞退する権利」と呼ばれています）の詳細については、以下のDfEのガイダンスを参照してください。

## 7. バランスのとれたカリキュラム

私たちは、問題に対してさまざまな視点を提供するRSEカリキュラムを提供することで、児童生徒がバランスの取れたプログラムを受けられるようにします。

児童生徒たちは明確な科学的情報を受け取り、RSEに関連する法律の側面も取り上げる。事実を知り、若者が異なる視点を探求できるようにすることは、行動を促進することとは異なります。私たちは、児童生徒が安全で健康的な生活を送り、個人としての権利を理解するために必要な学習を受けられるようにします。

## 8. プログラムの指導責任

人間関係と性教育プログラムの責任者は、さまざまな教科の教員が行う。

しかし、すべての教員は、児童生徒の個人的・社会的スキルの育成に貢献し、RSEプログラムの態度や価値観の面の育成に携わる。教員は、児童生徒の模範となり、児童生徒同士や他の大人と児童生徒との間に健全で良い関係を築きます。

## 来校者

本校では、RSEを実施するために、外部機関や医療の専門家の支援や指導を求めることがよくあります。このような訪問は、常に現在のプログラムを補完するものであり、決して教員主導の授業の代わりや代用となるものではありません。来校者はすべて、十分な審査を受け、学校で授業を行う間の役割と責任について

明確に知らされます。すべての来校者は、CESのガイダンス「学校への外部講演者のためのチェックリスト」<sup>3</sup>に沿って作成された当校の実践規範を遵守する必要があります。

---

<sup>3</sup>CES 学校向け外部講演者用チェックリスト（2016年

医療の専門家は、他の教員と同じように、取り決めた基本ルールや距離を置くテクニックを使って、学校の方針に従います。

## 9. RSEに関するその他の役割と管理職責任

- RSEの方針を作成し、保護者と教員に周知する；
- この方針が保護者に周知されていることを確認する；
- この方針が、SENや学校の理念など、他の学校全体の方針に従っていることを確認する；
- 保護者が子どもを辞退させる権利を知っていることを確認する；
- 学校運営委員会のメンバーをリンクさせ、使用したリソースも含め、プログラムのモニタリングと評価を共有する；
- この方針が、関連する日本のカリキュラム科目とPSHEにおけるRSEの設定を適切かつ十分にカバーしていることを確認する。

### 校長

校長は、このポリシーの実施と、管理職、保護者、地元教育機関（該当する場合）、および適切な関係機関との連絡について、全権委任された責任を負います。

## 10. PSHE/RSEコーディネーター

また、RSEに関連する情報の普及や、*児童保護に責任を持つ他の職員の支援を受けながら、* 実地研修を提供する。

### 全教員

RSEは学校全体の問題である。すべての教員は、学問的な進歩を促すだけでなく、児童生徒の身体的、道徳的、精神的な健康の保護と指導に積極的に貢献しなければなりません。RSEを教える全教員に対し、適切な研修を行う。この方針の策定には全教員が参加しており、全教員はこのポリシーと、それがどのように自分たちに関係するかを知っておく必要がある。

## 11. 他の方針やカリキュラム科目との関係

このRSE方針は、PSHEの枠組みの一部として実施される。児童生徒の安全に関するガイドラインも含まれており、学校の他の方針文書（いじめ防止方針、児童保護および保護方針など）と互換性があります。

付加的なニーズを持つ児童生徒が望ましい成果を達成できるよう、適切なサポートを受ける。すべての児童生徒の多様なニーズに対応できるよう、指導方法を工夫します。

## 12. 論争的で微妙な質問

管理職は、RSEが行われる健全で前向きな雰囲気を促進したいと考えています。児童生徒が自由に質問でき、その質問に答えてもらえると確信し、他の子どもや若者からのいじめや嫌がらせがないようにしたいと考えています。

RSEで特定のトピックについて話し合う際、児童生徒から微妙な問題や物議を醸すような問題が提起されることがあります。このような問題は、児童生徒自身の経験によるものであったり、児童生徒の価値観によるものであったりします。管理職は、RSEプログラムの中でこのような問題について率直に話し合う機会が与えられることが、子どもたちを最もよく教育し、危害や搾取から守ることにつながると考えています。教員と児童生徒の間で取り決めた基本規則を使用することで、この話し合いのための支援的な環境を作ることができます。

## 13. 危険にさらされている子どもや若者を支援する

子どもたちは、RSEが行われる環境において、安全で安心だと感じる必要がある。効果的なRSEは、人間関係において何が適切で何が適切でないかを話し合う機会を提供する。このような話し合いは、保護に関する問題の開示につながる可能性がある。教員は、児童生徒のニーズに気を配り、不安や心配を見過ごさないようにする必要がある。教員は、児童や若者が虐待の被害者である、または虐待の危険にさらされていると疑われる場合、学校の保護方針に従い、直ちにDSLに報告することが義務付けられている。

## 14. 守秘義務とアドバイス

すべての管理職、全教員、全職員、全保護者、全児童生徒に、特にアドバイスや守秘義務に関するこの方針を周知させなければならない。

すべての授業、特にRSEプログラムでは、児童生徒の最善の利益を第一に考え、児童生徒が人間関係と性についての知識と理解を深め、適切な個人的・社会的スキルを身につけることができるようにする。

児童生徒には、RSEプログラムで取り上げられた問題について、両親や保護者に話すよう奨励する。教員は、個人的な困難に直面している児童生徒を常に助けます。教員は児童生徒に対し、無条件の秘密保持はできないことを説明する。

## 15. モニタリングと評価

RSEコーディネーターは、定期的に計画、学習計画、児童生徒の学習見本を調査することにより、プログラムの様々な側面が提供されているかどうかを監視する。プログラムの評価は、児童生徒へのアンケート、回答用紙、ニーズ調査、または児童生徒、職員、保護者との話し合いによって、年2回行われる。評価結果は、

これらの関係者に報告され、改善のための提案が求められます。管理職は方針を修正する前に、そのような評価や提案をすべて検討します。管理職は本方針の最終的な責任を持ちます。

## PSHE & RSEシラバス

### 小1（1年目）

		道徳M.E.
健康	運動	保健体育体育
多様性	世界の国の人々（他国の人々） ぼくとシャオミン（シャオミンとぼく） ウェスト・アクトン・プライマリーとの交流（ウェスト・アクトン・プライマリー訪問記）	道徳M.E.
人間関係	(仲間とともに：仲間のいいところを見つけよう) 家族の役に立つ 挨拶、言葉遣い（挨拶、礼儀）	道徳M.E.
人権		道徳M.E.
性教育	いのちは見えるよ。	道徳M.E.
安全性	通学路・公園の安全確認 (通学路の安全／公園や遊び場での安全)。 避難訓練 (避難訓練)	生活 生活環境学
その他		

### 小2（2年目）

健康	運動	保健体育体育
多様性	(広い世界で多くの人々と暮らす) スパニッシュ校との交流（スペイン語学校への訪問／ スペイン語学校からの訪問）	道徳M.E.
人間関係	だってお兄ちゃんだもん。	
人権		
性教育	生立ち絵本（絵本をつくる：生まれてから）	生活 L.E.S.
安全性	町探検（地元を探検する） 通学路・公園の安全確認 (通学路の安全／公園や遊び場での安全)。 避難訓練	生活 L.E.S.
RSE ポリシー 202306 v1.4.1		
その他	買い物体験 (お店での買い方)	生活 L.E.S.

### 小3（3年目）

健康	運動	保健体育体育
多様性	ウェスト・アクトン・プライマリーとの交流（ウェスト・アクトン・プライマリー-訪問記）	
人間関係	思いやりの心（他者への共感） 友だちを信頼する。	道徳M.E.
人権	思いやりの心（他者への共感）	道徳M.E.
性教育		
安全性	町探検 (町を探検し、地図を描く) 避難訓練 (避難訓練)	
その他		

### 小4（4年）

健康	運動	保健体育体育
多様性	ウェスト・アクトン・プライマリーとの交流（ウェスト・アクトン・プライマリー-訪問記）	
人間関係	思いやりの心（他者への共感） 友だちを信頼する。	道徳M.E.
人権	思いやりの心（他者への共感）	道徳M.E.
性教育	二次性徴について学ぶ（第二次性徴について学ぶ）  (両親にインタビューし、出生について学ぶ) 両親への感謝の心（自分を産み育ててくれた両親に感謝する） 二分の一成人式 (10歳：人生の節目-未来に向かって成長する)	保健体育体育

安全性	町探検（町を探検し、地図を描く） 火事や犯罪から身を守る (火事や犯罪から身を守るには)。 津波災害 避難訓練	社会 社会
その他		

### 小5（5年）

健康	運動 健康的な食事	保健体育体育
多様性	ドイツ語学校 / セント・ヴィンセント小学校 との交流 (ドイツ語学校 / セント・ヴィンセント小学校訪問)	
人間関係	家族の幸せのために	道徳M.E.
人権	相手の立場に立って立って（他者への共感） 差別や偏見のない公正な態度 (偏見やバイアスのない公正な態度)	道徳M.E.
性教育		理科
安全性	避難訓練	
その他	賢いお金の使い方（経済） (賢いお金の使い方)（経済学） エルガーについて（文化） (エルガーの生涯と音楽)（イギリス文化）	家庭科 音 楽 音楽

### 小6（6年生）

健康	運動 病気の予防（個人の衛生：病気の予防法） 健康的な食事	保健体育体育  家庭科 ホームエコンミ クス
多様性	フランス人学校との交流（フランス人学校への訪問 / フランス人学 校からの訪問） 国際理解	社会 社会
人間関係	家族の幸せのために	道徳M.E.
人権	相手の立場に立って（他者への 共感）差別や偏見のない公 正な態度 (偏見やバイアスのない公正な態度)	道徳M.E.
性教育		

安全性	避難訓練	
その他	英国の良いところ (ウェールズへの修学旅行：ウェールズの文化 感謝の心 (周りの人に感謝する))	総合的な学習の時間 I.S.  道徳M.E.

## 中1 (7年)

健康	運動 体の発達 (臓器の成長) 欲求と心の健康 (欲望と健康な心)	保健体育 体育
多様性	クリアモント校との交流 (クリアモント校訪問/クリアモント校発着) 国際協力 (グローバルに考え、ローカルに行動する)	外国語A 英語
人間関係	異性の尊重 (男女間の尊重) シン・シュン 西の魔女が死んだ 星の花が降るころに (リーディング教材)	保健体育 国語 日本語
人権		
性教育	生殖機能の成熟 異性の尊重と性情報への対処 (男女間の尊重) (性的情報の取り扱い)	保健体育 体育
安全性	避難訓練 インターネットの安全性：SNS (インターネットを安全に利用する：SNS)	道徳M.E.
その他	宗教  帝国戦争博物館訪問 (帝国戦争博物館訪問)	社会・外国語 A 社会 英語

## 中2 (8年)

健康	運動 字のない葉書 (読み物)	保健体育 体育 国語 日本語
多様性	シンガポールへの旅行 異なる立場から考える。	外国語A 英語 国語 日本語
人間関係	走れメロス(読み物)	国語 日本語
人権		
性教育		



安全性	避難訓練 犯罪から身を守る (犯罪：ギャング文化、ナイフ犯罪、県境など)	保健体育体育
その他	職場体験学習（職務経験）  グラスゴー大聖堂訪問（グラスゴー大聖堂訪問）	外国語A 英語

### 中3（9年）

健康	運動 緊急治療法（応急手当、CPR、AED） 生活習慣病 (生活習慣病：アルコール、喫煙、薬物、不健康な食事)	保健体育体育
多様性		総合I.S.
人間関係	故郷（読み物）	国語 日本語
人権	人権と平等	社会
性教育	感染症の予防（性感染症の予防） エイズの予防	保健体育体育
安全性	避難訓練 災害対策（自然災害に備えよう）	外国語A 英語
その他	消費者生活と経済（消費者と経済）	社会
		音楽

## 略語リスト

### 道徳教育

道徳教育は、人間の尊厳と生命に対する畏敬の念を家庭や学校などの社会生活の具体的な場面で生かし、豊かな心や思いやりの心を持ち、主体的に行動する日本国民を育成するための基礎となる道徳性を養うことを目的とする。

伝統と文化を愛し、それを育んできた祖国と郷土を愛し、個性ある文化を創造し、公共の精神を尊び、民主的な社会と国家の発展に努め、他国を尊重し、世界平和と国際社会の発展、環境の保全に貢献し、未来への可能性に関心を持つ。

### L.E.S. 生活環境学

ねらい：具体的な活動や体験を通して、児童生徒が自分と周囲の人々、社会、自然との関係に関心を

持ち、自分自身や自分の生き方について考え、その過程で生活に必要な基本的な習慣や技能を身につけ、自立の基礎を養う。

#### I.S. 総合研究

ねらい：総合的な学習の時間や探究的な学習を通して、児童生徒が自分の生き方について自分なりに考えることができるようにするとともに、自ら課題を見つけ、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、よりよく問題を解決していくための資質・能力を育成する。同時に、主体的・創造的・協働的に問題解決や探究活動に取り組む姿勢を養い、学び考える習慣を身につけさせる。

#### C.A. 学級の活動

学級活動は、望ましい人間関係を形成し、集団の一員として学級や学校でのよりよい生活づくりに参加することを目的としている。同時に、自主的・実践的に問題解決に取り組む態度を養う。